

### (3) 北 関 東



北関東地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

- ・ 鉱工業生産は一部に持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直している。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（  は上方に変更、  は下方に変更）。

#### 前回からの主要変更点

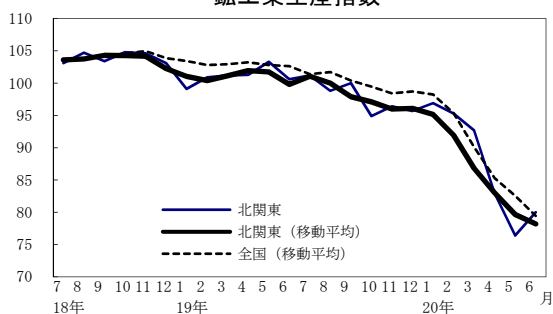
	前回（令和2年5月）	今回（令和2年9月）	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる	↑
鉱工業生産	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	一部に持ち直しの動きがみられる	↑
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	このところ持ち直している	↑
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している	感染症の影響により、弱い動きとなっている	→

#### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は一部に持ち直しの動きがみられる。

4－6月期には、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「輸送機械」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1－3 月期	4－6 月期	4月	5月	6月
石油・石炭、化学、プラ製品	20.1	▲5.6	▲11.7	▲1.8	▲10.6	▲2.4
輸送機械	18.3	2.0	▲45.2	▲47.2	▲6.1	32.8
汎・生産・業務用機械	17.1	▲1.5	▲8.4	2.2	▲6.3	3.2
食料品・たばこ	12.1	5.0	—	▲1.2	▲4.3	—
電子デバ、電気・情報通信	11.2	▲1.8	▲9.0	▲6.7	▲6.1	▲1.5
鉱工業	100.0	▲0.7	▲16.0	▲10.6	▲7.8	4.7

- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。  
2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。  
3. 北関東は内閣府にて算出。

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
2. 4－6月期、6月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。  
3. 業種は内閣府にて分類。

## 2. 個人消費の動向

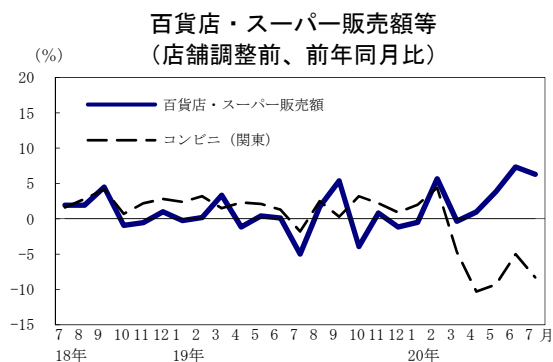
個人消費はこのところ持ち直している。

### (1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

4月は前月比8.4%減、5月は同2.5%減、6月は同6.7%増となった。

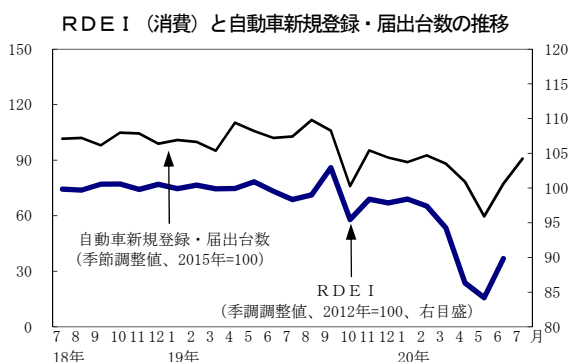
### (2) 百貨店・スーパー販売額

緊急事態宣言等に伴う休業や営業時間の短縮が実施されるなか、4月は前年同月比1.0%増、5月は同3.9%増となった。6月は、緊急事態宣言解除に伴う営業再開等により、同7.3%増となった。7月は同6.3%増となった。



	2020年4-6月	2020年4月	5月	6月	7月
RDEI (消費*1)	▲10.2	▲8.4	▲2.5	6.7	—
百貨店・スーパー(*2)	4.1	1.0	3.9	7.3	6.3
コンビニ(*3)	▲8.2	▲10.3	▲9.3	▲5.0	▲8.3
乗用車(*4)	▲31.8	▲29.2	▲45.1	▲22.1	▲11.8
(季節調整値)(*4)	▲20.1	▲11.1	▲23.8	29.5	17.6

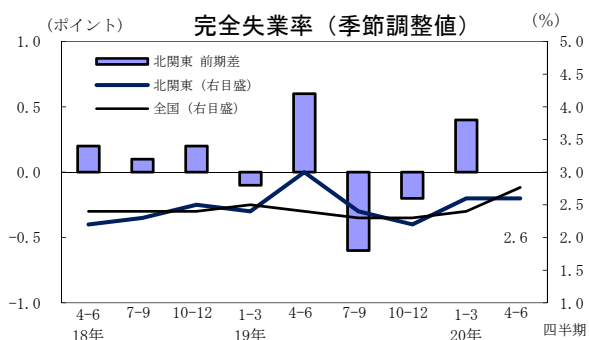
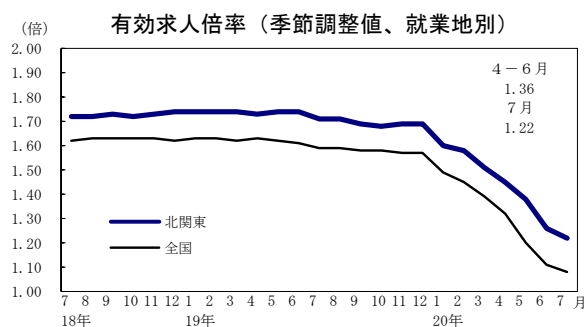
- (備考) 1. 季節調整前前期(月)比(%)  
 2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)  
 百貨店・スーパーは内閣府にて算出。  
 2020年7月は速報値。  
 3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)  
 コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。  
 2020年7月は速報値。  
 4. 乗用車は、新規登録・届出数(上段は前年同期(月)比(%)



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年7月調査) 景気判断理由の概要

3. 北関東

( 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

現況	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの緊急事態宣言明けの動きで、少しずつ回復してきているのではないかと(設計事務所)</li> <li>新型コロナウイルス感染者が増えてきているので、外出を控えている(ゴルフ練習場)</li> <li>前月と比べて、特別定額給付金の影響は弱くなってきている。今月は前年比104%で着地しそうである。天候不順も景気に影響している。冷蔵庫や洗濯機等の家事関連商材が人気で、好調である(家電量販店)</li> </ul>
企業 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>特別好調ではないが、堅調に推移している(窯業・土石製品製造業)</li> <li>下請の金属加工やプラスチック加工業者の動きをみていると、やや悪いくらいで済んでいるのは良い方ではないかと感じる(司法書士)</li> <li>新型コロナウイルスの影響を受ける前の状況に戻ってきている(輸送用機械器具製造業)</li> </ul>	
雇用 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣受注が前年比で減少という状況は、さほど変わらない。6月に入り回復の兆しが見えたものの、7月の新型コロナウイルス感染者増加により、採用活動を一時見合わせる企業が一定数発生している(人材派遣会社)</li> <li>新型コロナウイルスの影響はまだまだ未知数で、学生の就職にも悪影響を及ぼしている(学校[専門学校])</li> <li>有効求人数は前年同月と比べて12か月連続で減少し、34.2%減、新規求人数は同23.9%減となっている(職業安定所)</li> </ul>	
その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>: 3か月前の5月は売上が半分以下だったが、今月は9割まで戻っている。8月は半分くらいは達成できそうである(金属製品製造業)</li> <li>: 県の宿泊キャンペーンで、県内在住者の宿泊申込みはあるものの、それ以外の個人や団体の旅行はほとんどない(旅行代理店)</li> </ul>	
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>花火大会を含めた各種イベント等が中止になっており、その分、来客数減少が見込まれ、販売も減るとみている(コンビニ)</li> <li>来客数がなかなか伸びてこない(一般レストラン)</li> </ul>
	企業 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>後は梅雨明けし、夏物家電のエアコン、扇風機、サーキュレーター等の物量は、前年並みとなる予定である。ただし、新型コロナウイルスの収束も見えないなか、消費が落ち込むことも予測され、物量確保が心配される(輸送業)</li> <li>自動車関連の仕事で、秋口から大幅増産の計画があり、今から作り込みを始めている(一般機械器具製造業)</li> <li>新型コロナウイルスの感染が再び広がっており、業務の延期や中止が出始めている。前回の感染拡大の波は何とか耐えたが、再度の休業等となれば、テナント存続も怪しくなり、撤退による賃貸収入の減少も大いにあり得ると考えている(不動産業)</li> </ul>
	雇用 関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>求職者数に対して長期の事務系案件が不足しており、まだしばらくは厳しい状況が続くと予想される(人材派遣会社)</li> </ul>
	その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>: 受注に結び付きそうな引き合いも出始め、やや良くなると予想している。新型コロナウイルス感染への恐怖心をあおる情報を冷静に判断し、活動することが肝要であり、踏ん張り時と考える(化学工業)</li> <li>: 首都圏を中心に新型コロナウイルス感染者が増加しており、Go To Travelキャンペーンが開始されても、来園者が増えそうな雰囲気は全くない(テーマパーク)</li> </ul>

(D I) 現況・先行き判断D I (北関東)の推移(季節調整値)

